

Yayoi Kanda

送信者: "TURISMO LATINO" <latino@tokyo.email.ne.jp>
宛先: <latino@tokyo.email.ne.jp>
Cc: <latino@osaka.email.ne.jp>
送信日時: 2011年10月6日 16:55
添付: CHAN CHAN ITI.pdf, トルヒジヨ.pdf
件名: 南米セールス情報マガジン No.21「中南米/危機遺産」
 各社営業マンの皆様へ

南米セールス情報マガジン第21弾は、国連・ユネスコをはじめとする世界機構が大きな問題として取り上げている危機遺産に関するプログラムをご紹介します。



行政視察、学生団体、NPO、企業RSなどのお客様へのご提案に最適です！

ご存知ですか？

ユネスコの世界遺産として登録されている件数911である。常に人気を集めている世界遺産を訪問する観光客は多いですが、その中で戦争、自然災害、などにより、重大な危機にさらされている遺産は、「危機世界遺産リスト」に登録されます。そして、世界遺産基金の協力を仰ぎ修復など、遺産を守る作業が進められます

34の危機遺産がある中、6つは中南米にあります：

国名	遺産名	危機遺産登録年	主な危機遺産登録理由
ペルー	チャン・チャン遺跡地帯	1986年	潮風などによる建材の劣化
チリ	ハンバーストーンとサンタ・ラウラの硝石工場群	2005年	木造建築群の老朽化
ベネズエラ	コロとその港	2005年	豪雨による被害、周辺の開発
コロンビア	ロス・カティオス国立公園	2009年	違法な伐採による森林環境の悪化など
ベリーズ	ベリーズ珊瑚礁保護区	2009年	過度の開発などによる環境の悪化
ホンジュラス	リオ・プラタノ生物圏保護区	2011年	密猟や違法伐採など

このような危機遺産を救うために、まず現状を知る・知らせることが大切であると考えられます。現在はユネスコの協力を得て各危機遺産では保護活動などが行なわれておりまして、そのような危機遺産の視察プログラムをご用意できます。

ペルー北部 チャンチャン遺跡地帯
(添付プログラム)

ベリーズ ベリーズ珊瑚礁保護区

<http://www.t-latino.com/tour-list/detail.php?id=123>

危機遺産から見事に回復した成功例としてアンコール・ワットがあり、日本やフランスの積極的な修復支援が行われた結果、2004年に危機遺産から外されました。

<http://www.unesco.jp/contents/isan/crisis.html>

以上、ご確認よろしく申し上げます。

<<< **バックナンバー** >>>

これまでご紹介させて頂いた中南米のプロジェクトです！
各プロジェクトのサンプル日程表もご覧いただけます。

TURISMO LATINO, INC.

株式会社ラティーノ 東京本社

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-3-6 CIビル5F
TEL : 03-3792-9000 FAX : 03-3792-9687
E-MAIL : latino@tokyo.email.ne.jp

西日本営業所

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-6-15 福光ビル 505
TEL : 06-6271-8177 FAX : 06-6271-8144
E-MAIL : latino@osaka.email.ne.jp

< トラベルインフォメーション / トルヒジヨ >

トルヒジヨはリマから561キロのペルー北部に位置する。アクセス手段は空路で1時間、陸路セントロで8時間になります。この都市はペルー征服者ピザロが1534年に建設し、自分が生まれたスペインのトルヒジヨと同じように名づけた。ペルー北部に位置するこの都市はペルー第2の都市であり、太平洋とアンデスの山々に囲まれて、通年過ごしやすい気候に恵まれることから「永遠の春都」と呼ばれております。トルヒジヨは植民地時代の面影が強く残るコロニアルな町です。中心部セントロにはペルー国内で目立つ美しさを誇る「アルマス広場」があり、その周りに1666年に建設された大聖堂「カテドラル」やエル・カルメン修道院という美しい建築物、ペルー独立誓約書が準備されたエンマンパシオン官邸などがあります。



アルマス広場



大聖堂カテドラル



コロニアル建築物

トルヒジヨでは7世紀～15世紀までチムー文明が栄えたことで、今ではその遺跡郡が観光スポットとなっております。

トルヒジヨ市内から5キロに位置する。陸路で10分の移動になります。この遺跡は日干しレンガでできており、その規模は世界最大級である。1986年にはユネスコの世界文化遺産に登録された。チャンチャンはチムー文明の都であり20キロという面積まで広がっていた。考古学者の研究によれば最大で10万人がここに住んでいた。今では日干しレンガでできた広場、住居、作業場、小道、塀、神殿跡などを見学することができます。日干しレンガでできた壁には動物やチムーの神々をモチーフにした浮き彫り絵があり1000年以上も前から残っており、観光客を魅了する。



トルヒジヨ中心部から8キロに位置する。陸路で15分の移動になります。日干しレンガでできた二つの建物、政治的な要塞であった「太陽のワカ」と宗教的な礼拝所「月のワカ」とその周辺の遺跡郡が観光スポットになります。太陽のワカは現在も発掘作業が続けられ、月のワカを見学ができ、モチカの時代ごとに立て直された遺跡郡が重なった状態で残っている。壁にはいくつかの彩りのレリフが非常に保存状態が良く、くっきりと見ることができます。この神殿では40人の軍人のお墓が発見されてます。太陽のワカと月のワカには住居の跡があり、小道、広場などの跡も見られます。

TURISMO LATINO, INC.

株式会社ラティーノ 東京本社

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-3-6 CIビル5F
TEL : 03-3792-9000 FAX : 03-3792-9687
E-MAIL : latino@tokyo.email.ne.jp

西日本営業所

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-6-15 福光ビル 505
TEL : 06-6271-8177 FAX : 06-6271-8144
E-MAIL : latino@osaka.email.ne.jp



.....トルヒジョ市内から4キロに位置する。陸路で10分の移動に
・ドラゴンのワカ ・・なります。この遺跡も日干しレンガでできており、1100年前
.....チムー文明のはじめに建設されたと推測されてます。遺跡は四角い形
しており、ドラゴンに似たようなレリーフがあることからこの名が付いた。研究者の学説による
とここは宗教施設であった。虹のための宗教儀式が行われたとされてます。



.....トルヒジョ市内から15キロに位置する。陸路で20
・ワンチャコ海岸 ・・分。ここは、1000年前のチムー文明のリゾート地
.....だったのでしょ。この海岸はすばらしいサンセット
を眺めることもでき、暑くもなく、寒くなく、潮風を感じる楽園。魚介類も豊富
で、その昔チムーたちは葦でできた一人乗りのトラ舟に乗って漁にでかけてい
た。その習慣は今でも続いており、朝方・夕方に現地の数十人が漁にでかけの
を見ることができます。その姿はまるでサファリーの様。
ワンチャコ海岸には海を眺めるレストラン数軒があり、採りたての新鮮なシーフ
ードが人気。ランチの後、砂浜で散歩、トラ舟での漁体験、桟橋で釣りなど
も楽しんで、夕方にワンチャコ・サンセットを楽しんで頂きたい。

.....マリネーラ (Marinera) はペルー国民音楽
・伝統舞踊マリネラ ・・と呼ばれて愛され、ペルー全土で幅広く踊
.....られていますが、人気度が高いのはトルヒ
ージョ (Trujillo) で踊られるマリネーラです。1879年に銀鉱の領
有権を巡ってペルー、ボリビア連合軍対チリで戦争が勃発してペ
ルーは敗戦。チリ軍と勇敢に戦ったペルー海軍を称えマリネーラ (水
兵の意) と名づけられることになった。マリネーラはサマクエカ
(Zamacueca) と呼ばれる植民地時代の舞曲から生まれたと言われて
いる。サマクエカはスペイン人、黒人、先住民の音楽文化が交差し
て発展した踊りです。いちばん最初のマリネーラの曲は、1893年発
表のラ・コンチェペルラ La Concheperla である。大変人気のある
曲で、ペルー人なら誰でも知っているといわれるほどポピュラーな
曲である。

トルヒージョ・リベルター・クラブ(Club Libertad Trujillo)が主催する、
トルヒージョ市でのマリネラのコンクールは、1960年に始まり
45年の歴史を誇る。

数あるマリネラのコンクールのなかでもこの大会で優勝することは、踊
り手にとって最高の栄誉である。現在、ペルー全土はもとよりアメリカ
などからも参加者が集まり、その数800組を越える。



マリネラの音に合わせて踊る馬 Caballo de Paso

モデルコース【チャンチャン遺跡、インカのルーツ9日間】

インカの足跡を追って、北部の遺跡郡と危機遺産チャンチャン遺跡を理解するコースを巡る♪

成田発着

作成日:

2011/10/5

日数	チャンチャン遺跡、インカのルーツ9日間ツアー			食事
1日目	成田発 米国内都市 リマ着	航空機	空路、米国内都市乗換え、リマへ。 入国審査、税関検査後、日本語が1がにお出迎え。 宿泊は空港そばの新しいホテルへ 【シエラトン・リマ泊】	× × ×
2日目		専用車	ホテルにて朝食 午前：長旅の疲れをゆっくりホテルで癒して下さい 昼食：カフェ・デル・ムセオにて「ベスト・ガーデン・オブ・ペルー」の誇ラルコ博物館内 午後： ■専門ガイド同行のスタディーツアー ラルコ博物館、天野博物館 【世界遺産】リマ歴史地区、と新市街ミラフロレス観光 夕食：市内レストランにて 民族舞踊を楽しみながら 【シエラトン・リマ泊】	朝 昼 夕
3日目	トルヒジョ	空路 専用車	ホテルにて朝食 空路にて ~永遠の春の都~ トルヒジョへ 着後：トルヒジョ市内 アルマス広場、太陽と月の神殿にご案内 【世界遺産】チムー時代の チャンチャン遺跡ご案内 昼食：伝統舞踊 マリネーラを見ながらとランチ 【リベルタドル・トルヒージョ泊】	朝 昼
4日目		専用車	ホテルにて朝食 終日： ■世界遺産・危機遺産 チャンチャン遺跡にご案内 千年以上も前に、インカの前祖であるチムー文明によって建てられた の日干しレンガ遺跡、その規模は世界最大である。 昼食：葦船漁師で有名なワンチャコ海岸を眺めながら シーフードをご堪能 【リベルタドル・トルヒージョ泊】	朝 昼 夕
5日目	チクラヨ	専用車	ホテルにて朝食 陸路にて チクラヨへご案内 終日： ■インカ前の時代を支配したモチカ王国の遺跡群にご案内 シカン王、シパン王のピラミッド遺跡群と博物館にご案内 先住民は葦の手編み製品をつくるフェレニャフェ村へご案内 昼食：レストランにて名物料理 【グラン・ホテル・チクラヨ泊】	朝 昼 夕
6日目	カハマルカ	専用車	ホテルにて朝食 陸路にて ~インカ帝国滅亡都市~ カハマルカへ移動 途中：アンデスの山々の素晴らしい景色をお楽しみ下さい ■東京大学アンデス調査団発掘のクントウル・ワシ遺跡・博物館にご案内 温泉ホテルでごゆっくりお過ごし下さい 【ラゲーナ・セカ泊】	朝 昼 夕
7日目		専用車	ホテルにて朝食 午前：最後のインカ皇帝アタワルパが捕まえられた「インカの温泉」 開放のため大量の金でいっぱいにした「開放の部屋」などにご案内 空路にて リマへ戻ります	朝 昼 夕
8日目	リマ リマ発 米国内都市	空路	出発 ***終了***	朝
9日目	成田着			

★お問い合わせはこちらまで..

JATA(日本旅行業協会)正会員・OTOA(日本ツアーオペレーター協会)正会員

手配旅行会社 **株式会社 ラティーノ**

東京本社

東京都渋谷区恵比寿南1-3-6 CILビル5F

TEL 03-3792-9000 FAX 03-3792-9687

Eメール : latino@tokyo.email.ne.jp

WEB: <http://www.t-latino.com>

西日本営業所

大阪府大阪市中央区本町4-6-15福光ビル505号

TEL 06-6271-8177 FAX 06-6271-8144

Eメール : latino@osaka.email.ne.jp